

平成 27 年度事業報告書

公益財団法人徳川黎明会

I. 管理部門

[1] 業務執行体制の整備と強化

平成 27 年 4 月、市橋康吉徳川美術館副館長を配置し、約半年に亘る当該職位の空席を埋めるとともに、財団本部・徳川美術館・徳川林政史研究所における職制の一部にマネージャー制を導入し、課長職・係長職をマネージャー、コンシェルジュチーム・リーダーへと改めた。平成 27 年 12 月末、近松真知子専務理事兼総務部長、平成 28 年 1 月下旬、林繁俊総務部特命部長がそれぞれ自主退職した。後任として、同年 1 月初頭、財団本部に長谷川直人総務部次長、徳川美術館に近藤基管理部長兼総務部特命部長をそれぞれ配置し、業務執行体制を刷新した。

[2] 組織ならびに諸規程の見直し・再整備

1. 組織の見直し

平成 27 年 4 月、徳川美術館における事業部門を三部制（学芸部・企画推進部・管理部）から二部制（学芸部・管理部）へと再編した。

2. 諸規程の見直し・再整備

平成 27 年 11 月、定款を一部改定した。また、第 4 四半期初頭の人事交代による新体制により、職場環境改善を図るべく、諸規程、諸制度等の見直しを行い、再整備の手始めとなる平成 28 年度初頭の従業員就業規則改定に向け、現行規則を整備し、準備を進めた。

[3] 募金活動の企画推進

徳川美術館との協議を重ね、次年度に予定する美術館耐震工事に係る寄附金募集について、1 億円を目標に募金活動を展開することとし、平成 27 年 12 月より、平時の活動支援基金募集に加え、本格的な募金活動を展開した。また、徳川林政史研究所においては、同研究所 OB への寄附金を募った。

[4] 平成 26 年度監査

平成 26 年度決算監査について、下記の通り執り行われた。

日時：平成 27 年 5 月 25 日／14 時 00 分より 15 時 30 分まで

場所：当財団／本部会議室

対象：会計、業務、理事職務執行

[5] 理事会・評議員会開催

理事会・評議員会について、下記の通り開催された。

1. 理事会

(1) 第 1 回理事会（定時）

日時：平成 27 年 6 月 2 日／14 時 00 分より 16 時 00 分まで

場所：当財団／本部会議室

議案：第 1 号議案／平成 26 年度監査報告の件

第 2 号議案／平成 26 年度事業報告及び附属明細書承認の件

第 3 号議案／平成 26 年度計算書類及びその附属明細書並びに財産目録承認の件

第 4 号議案／平成 27 年度役員報酬額決定の件

第 5 号議案／徳川美術館耐震工事の件

第 6 号議案／「定款」「役員及び評議員等の報酬並びに費用等に関する規程」改訂の件

第 7 号議案／相談役選任の件

第 8 号議案／評議員会招集の件

結果：第 6 号議案を除く各案について、出席理事一同異議なく議決された。第 6 号議案については、細部再検討を要するところとされ、議決は見送られた。

(2) 第2回理事会（臨時）

日時：平成27年11月2日／10時00分より12時10分まで

場所：当財団／本部会議室

議案：第1号議案／専務理事退任の件

第2号議案／総務部長退任の件

第3号議案／退任理事への退職金支給の件

第4号議案／定款変更の件

第5号議案／評議員会招集の件

結果：第4号議案について、当該案を第2回評議員会に上程することとして、出席理事一同異議なく承認された。その他各案についても、出席理事一同異議なく議決された。

2. 評議員会

(1) 第1回評議員会（定時）

日時：平成27年6月19日／14時00分より16時30分まで

場所：当財団／本部会議室

議案：第1号議案／議事録署名人選定の件

第2号議案／平成26年度計算書類並びに財産目録承認の件

第3号議案／任期満了に伴う評議員選任の件

第4号議案／評議員会長選定の件

結果：全案について、出席評議員一同異議なく議決された。なお、第3号議案については、候補者個別に可否が諮られ、第4号議案については、互選による選定がなされた。

(2) 第2回評議員会（臨時）

日時：平成27年11月27日／13時30分より15時30分まで

場所：当財団／本部会議室

議案：第1号議案／議事録署名人選定の件

第2号議案／定款変更の件

結果：全案について、出席評議員一同異議なく議決された。

[6]官庁申請・届出・報告

1. 内閣府関係

下記について、電子申請システム（公益 Information システム）経由にて提出・報告した。

(1) 平成27年6月 平成26年度事業報告及び決算報告

(2) 平成28年3月 平成28年度事業計画及び収支予算

[7]役職員の状況

1. 役員等

平成28年3月31日現在、評議員6名、役員8名、相談役2名、合計16名

(1) 評議員

職位	氏名	現職
評議員会長	田中 秀隆	(公財)三徳庵理事長
評議員	太田 宏次	(公財)東洋医学研究財団理事長
評議員	小林 喬	富国生命保険(相)相談役
評議員	濱本 英輔	(株)ロッテ顧問
評議員	原 俊夫	(公財)アルカンシエール美術財団理事長
評議員	室瀬 和美	(株)目白漆芸文化財研究所代表取締役

(2) 理事

職位	氏名	現職
代表理事 (会長)	徳川 義崇	徳川美術館館長・八雲産業(株)代表取締役
常務理事	竹内 誠	徳川林政史研究所所長・東京学芸大学名誉教授
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
理事	小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
理事	徳川 斉正	(公財)徳川ミュージアム理事長
理事	前田 利祐	(公財)前田育徳会理事

(3) 監事

職位	氏名	現職
監事	降旗 京二	降旗公認会計事務所所長
監事	松平 頼武	(学)本郷学園理事長

(4) 相談役

職位	氏名	現職
相談役	竹内 順一	(公財)永青文庫理事
相談役	竹田 憲央	八雲産業(株)常務取締役兼総務部長

2. 職員等

平成 28 年 3 月 31 日現在、職員等 35 名、協力者等 52 名、合計 87 名

(1) 職員等

区分	常勤	非常勤	計
職員	22	0	22
雇員	5	0	5
嘱託	2	2	4
臨時	0	3	3
派遣	1	0	1
合計	30	5	35

(2) 協力者等

区分	常勤	非常勤	計
参与	0	5	0
特任研究員	0	16	0
非常勤研究員	0	15	0
非常勤研究生	0	13	0
非常勤学芸員	0	3	0
合計	0	52	52

II.公益目的事業

平成 27 年度は、当財団設立から満 84 年、徳川美術館においては、開館 80 周年記念に当たる節目の年となった。徳川美術館・蓬左文庫開館 80 周年記念として、四季ごとに開催した「国宝 初音の調度」の全点一挙公開、徳川家康没後 400 年などの特別企画展、また、ネットゲームに端を発する刀剣ブームの影響から、社会的関心の高まりが窺え、来館者数は、直近数年度に比して増加傾向を示した。

[公 1]美術館の運営事業（徳川美術館）

[1]調査・研究

1. 研究活動

研究課題（開始年）	担当
(1) 館蔵品悉皆調査（昭和 63 年）	学芸部共同
(2) 尾張徳川家関係寺社蔵品調査（昭和 58 年）	学芸部共同
(3) 古代・中世の料紙装飾の系譜（昭和 60 年）	学芸部部长 四辻 秀紀
(4) 歌絵・物語絵の研究（平成 3 年）	学芸部部长 四辻 秀紀
(5) 徳川将軍家と尾張家の研究（平成 19 年）	学芸部部长代理 原 史彦
(6) 長篠・長久手合戦の研究（平成 20 年）	学芸部部长代理 原 史彦
(7) 近世絵画の研究（平成 6 年）	学芸部マネージャー 吉川 美穂
(8) 尾張を中心とする画家の活動について（平成 11 年）	学芸部マネージャー 吉川 美穂
(9) 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について（平成 8 年）	学芸部学芸員 並木 昌史
(10) 有職装束の研究（平成 8 年）	学芸部学芸員 並木 昌史
(11) 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究（平成 21 年）	学芸部学芸員 並木 昌史
(12) 近世狩野派の研究（平成 24 年）	学芸部学芸員 薄田 大輔
(13) 江戸初期絵画の研究（平成 24 年）	学芸部学芸員 加藤 祥平
(14) 古代・中世の仏教絵画の研究（平成 25 年）	学芸部学芸員 安藤 香織
(15) 東洋陶磁の研究（平成 25 年）	学芸部学芸員 吉富 真知子

2. 科学研究費助成事業

文部科学省科学研究費補助金

(1) 研究種目	基盤研究(B)
(2) 研究課題	高雄曼荼羅に見る古代アジア密教美術の様相
(3) 交付機関	東京国立博物館（独）日本学術振興会
(4) 研究分担者	徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

[2]文化財保存

1. 修理

- (1) 基本美術品（計 1 点）
国宝 源氏物語絵巻 四十三面のうち五面
（柏木（二）絵、横笛絵、竹河（二）絵、早蕨絵、東屋（二）絵）
本件は、国宝重要文化財等保存整備費補助金（国庫補助事業）による修理（平成 24 年度より継続）
- (2) 普通美術品（計 1 点）
琴棋書画図 四幅対

2. 購入

- (1) 普通美術品（計 1 点）
貝雛図 小田切春江筆 一幅

3. 受贈

(1) 普通美術品 (計 16 点)

- | | |
|--------------------------------|----|
| ① 千歳棗 徳川齊荘好 | 一合 |
| ② 福善坊風炉・釜 宮崎寒雉作 関戸家旧蔵 | 一具 |
| ③ 附属 高田太郎庵筆額「福善坊」 | 一面 |
| ④ 薩摩焼金欄手楼閣人物図茶入 | 一口 |
| ⑤ 鎌倉彫牡丹唐草文中次 | 一合 |
| ⑥ 梨子地葵紋蒔絵棗 | 一合 |
| ⑦ 染付青海波文水指 | 一口 |
| ⑧ 黒塗葵紋・葉菊紋散蒔絵眉作箱 伝和宮所用 | 一具 |
| ⑨ 黒塗松葉に松笠・羽根団扇蒔絵鏡建 | 一基 |
| ⑩ 黒塗笹唐草蒔絵鏡建 | 一基 |
| ⑪ 黒塗葵紋・閑院菊紋牡丹唐草蒔絵雛道具 眉作箱 伝和宮所用 | 一具 |
| ⑫ 黒塗葵紋・閑院菊紋牡丹唐草蒔絵雛道具 硯箱 伝和宮所用 | 一具 |
| ⑬ 黒塗孔雀蒔絵小鼓 (附属 鼓革 二組) | 一挺 |
| ⑭ 紙雛図 三条公修賛 田中訥言筆 | 一幅 |
| ⑮ 尾州大納言御庭中之図 | 一卷 |
| ⑯ 墨蘭図 徳川慶勝賛 徳川義宜筆 | 一幅 |

4. 収蔵品撮影 (館内)

- (1) 特別展「茶の湯の名品」「徳川家康」関連
- (2) 特別展「茶の湯の名品」「国宝 源氏物語絵巻」関連
- (3) 特別展「ぶらり浮世絵散歩」「豊臣から徳川へ」関連

[3]教育・普及

1. 定期研究発表会 (第 67 回、第 68 回)

- | | | | |
|------------------|-------------------|--------|-------|
| 平成 27 年 6 月 27 日 | 尾張徳川家伝来「筆筈譜」について | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
| 平成 28 年 3 月 19 日 | 詞書の書風からみた「掃墨物語絵巻」 | 学芸部部長 | 四辻 秀紀 |

2. 記念講演会

- | | | | |
|-------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------|
| 平成 27 年 4 月 11 日 | 国宝 初音の調度の魅力 | 九州国立博物館主任研究員 | 川畑 憲子 氏 |
| 平成 27 年 8 月 1 日 | 徳川家康 天下人への道 | 静岡大学名誉教授 | 本多 隆成 氏 |
| 平成 27 年 9 月 19 日 | 朝鮮本と蓬左文庫 | 富山大学名誉教授 | 藤本 幸夫 氏 |
| 平成 27 年 10 月 17 日 | わび茶のながれ | 武者小路千家家元後継 | 千 宗屋 氏 |
| 平成 27 年 11 月 7 日 | 記念シンポジウム
「お互いを理解する道のり
—江戸時代の日韓交流—」 | 名古屋大学教授
京都大学名誉教授
慶應義塾大学名誉教授 | 池内 敏 氏
夫馬 進 氏
田代 和夫 氏 |
| 平成 27 年 11 月 21 日 | 源氏物語絵巻の物語本文 | 大阪大学大学院文学研究科教授 | 加藤 洋介 氏 |

3. 土曜講座「大名の生活と文化」

- | | | | |
|-------------------|-------------------------|-----------|--------|
| 平成 27 年 4 月 25 日 | 初音の調度
—その意匠に込められた意味— | 学芸部部長 | 四辻 秀紀 |
| 平成 27 年 5 月 16 日 | 尾張の茶道 | 学芸部学芸員 | 加藤 祥平 |
| 平成 27 年 6 月 20 日 | 白と黒 色の秘密を探る | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| 平成 27 年 7 月 4 日 | 花鳥画の変遷 | 学芸部学芸員 | 薄田 大輔 |
| 平成 27 年 9 月 5 日 | 徳川家康と駿府御分物 | 学芸部部長代理 | 原 史彦 |
| 平成 27 年 10 月 3 日 | 徳川美術館の茶道具 | 学芸部学芸員 | 吉富 真知子 |
| 平成 27 年 11 月 28 日 | 源氏物語絵巻を読み解く | 学芸部部長 | 四辻 秀紀 |

- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|----------------------|-------------|
| 平成 28 年 1 月 9 日 | 珍品コレクター・徳川義親 | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
| 平成 28 年 2 月 20 日 | 蓬左文庫のあゆみ | 名古屋市蓬左文庫学芸員 | 木村 慎平 氏 |
| 平成 28 年 3 月 5 日 | 「武士道」から見た茶人・利休 | 大日本茶道学会副会長 | 田中 仙堂 氏 |
| 4. 夏期講座「徳川家康」 | | | |
| 平成 27 年 8 月 18 日 | 三河時代の家康ー今川から織田へー | 岡崎市美術博物館副館長 | 堀江 登志実 氏 |
| 平成 27 年 8 月 18 日 | 家康の肖像 | | |
| | ー三方ヶ原戦役画像の謎ー | 学芸部部長 | 四辻 秀紀 |
| 平成 27 年 8 月 19 日 | 家康政権と徳川義直 | 中京大学文学部 | |
| | ー尾張藩の成立ー | 歴史文化学科准教授 | 白根 孝胤 氏 |
| 平成 27 年 8 月 19 日 | 家康の蔵書「駿河御讓本」 | 名古屋市蓬左文庫長 | 桐原 千文 氏 |
| 平成 27 年 8 月 20 日 | 見学会（本證寺・妙源寺・松平郷・滝山寺・滝山東照宮） | | |
| 5. 能楽講座「尾張徳川家の能」テーマ：「花月」 | | | |
| 平成 27 年 4 月 19 日 | 曲中に登場する流行り歌 | 和泉流狂言方 | 井上 松次郎 氏 |
| 平成 27 年 5 月 9 日 | 花月少年の見たもの・知ったもの | 歌人 | 馬場 あき子 氏 |
| 平成 27 年 6 月 28 日 | 市井の人々を楽しませた鞆鼓の舞 | 笛方藤田流家元 | 藤田 六郎兵衛 氏 |
| 6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」 | | | |
| 平成 27 年 6 月 6 日 | 元禄の豪商・紀文と奈良茂 | 徳川林政史研究所所長 | 竹内 誠 |
| 平成 27 年 6 月 13 日 | 松の廊下刃傷事件 | 徳川林政史研究所副所長 | 深井 雅海 |
| 平成 27 年 6 月 20 日 | 古文書に見る元禄の災害 | 徳川林政史研究所
非常勤研究員 | 萱場 真仁 |
| 平成 27 年 6 月 27 日 | 尾張徳川家の姫君と将軍綱吉 | 中京大学文学部
歴史文化学科准教授 | 白根 孝胤 氏 |
| 平成 27 年 7 月 4 日 | 絵島生島事件（一） | 徳川林政史研究所研究員 | 藤田 英昭 |
| 平成 27 年 7 月 11 日 | 絵島生島事件（二） | 徳川林政史研究所研究員 | 藤田 英昭 |
| 7. ギャラリー・トーク | | | |
| 平成 27 年 6 月 26 日 | 対極の美 白と黒がおりなす世界 | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| 平成 27 年 7 月 5 日 | 対極の美 白と黒がおりなす世界 | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| 平成 27 年 9 月 2 日 | 徳川家康 | 学芸部部長代理 | 原 史彦 |
| 平成 27 年 9 月 6 日 | 徳川家康 | 学芸部部長代理 | 原 史彦 |
| 平成 28 年 1 月 10 日 | 知られざる徳川美術館コレクション | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
| 平成 28 年 1 月 16 日 | 知られざる徳川美術館コレクション | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
| 8. 古美術相談会 | | | |
| 年度 4 回開催、相談件数計 6 件 | | | |
| その他、写真郵送等による計 6 件の古美術相談を実施 | | | |
| 9. 名曲講座「名曲へのいざない」 | | | |
| 平成 27 年 5 月 28 日 | デビュー・コンサート | イル・ソフフィオ | |
| 10. 特別企画 | | | |
| 平成 27 年 4 月 18 日 | 刀剣ビギナーズ | | |
| 平成 27 年 5 月 5 日 | 端午の節供特別企画 親と子の甲冑教室 2015 | | 来館者数計 500 名 |
| 平成 27 年 7 月 16 日,17 日,19 日 | 「和の香りを楽しむ 組香ー空蟬香ー」 | | |
| 平成 27 年 8 月 12 日 | 徳川家康展企画「おもてなし武将隊 徳川家康トークショー」 | | |
| 平成 27 年 11 月 18 日～20 日 | 国宝 源氏物語絵巻展企画「和の香りを楽しむ 組香ー源氏香ー」 | | |
| 平成 28 年 1 月 5 日～31 日 | 申年にちなんだ展示室内の「猿さがしクイズ」 | | |
| 平成 28 年 2 月 24 日、3 月 3 日,6 日 | 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画
雛まつり満喫プラン | | 来館者数計 102 名 |

- 平成 28 年 2 月 27 日 目で見ると雛まつり 十二単着装公開 (2 回) 来館者数計 540 名
 平成 28 年 3 月 12 日 オリジナル香袋・文香をつくる 来館者数計 102 名
11. 会員のための見学会
 平成 27 年 9 月 30 日 第 52 回 徳川家康ゆかりの地をめぐる (浜松編)
 平成 27 年 10 月 27 日 第 53 回 徳川家康ゆかりの地をめぐる (静岡編)
12. 学芸員実習
 平成 27 年 6 月 25 日～7 月 2 日 博物館経営に関する講義および体験 (於館内核施設) 学芸員 8 名参加
13. 出講・委嘱
- (1) 出講
- | | | | |
|-----------|------|-----------|-------|
| ① 南山大学 | 前期 | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ② 金城学院大学 | 後期 | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ③ 中京大学 | 秋期集中 | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ④ 金城学院大学 | 前期 | 学芸部部长代理 | 原 史彦 |
| ⑤ 名古屋芸術大学 | 後期 | 学芸部部长代理 | 原 史彦 |
| ⑥ 同朋大学 | 前期 | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| ⑦ 名古屋芸術大学 | 後期集中 | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| ⑧ 椋山女学園大学 | 集中 | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| ⑨ 名古屋芸術大学 | 前期 | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
- (2) 委嘱
- | | | |
|---|-----------|-------|
| ① 宮内庁春日権現験記絵修理監査 | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ② (公財)芭蕉翁顕彰会参与 | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ③ 京都国立博物館買取協議会委員 | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ④ 愛知県県史編さん委員会特別調査委員 (別編文化財) | 学芸部部长 | 四辻 秀紀 |
| ⑤ 愛知県県史編さん委員会特別調査委員 (近世史) | 学芸部部长代理 | 原 史彦 |
| ⑥ 東京大学史料編纂所特定共同研究員 | 学芸部部长代理 | 原 史彦 |
| ⑦ 愛知県県史編さん委員会特別調査委員 (絵画) | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| ⑧ 文化庁平成 27 年度「博物館の管理運営に関する研修」
企画運営会議委員 | 学芸部マネージャー | 加藤 啓子 |
| ⑨ 愛知県県史編さん委員会調査協力員 (典籍班) | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
- ※その他、外部機関からの依頼にもとづき、随時職員を派遣した。
14. Google Art Project での当館作品紹介
 徳川美術館所蔵作品を Google Art Project へ掲載するため、Google 社と共同で、掲載作品の選定作業を実施した (引き続き次年度も継続予定)。
15. 土曜子ども教室の開催・小中生向け普及教育活動・館外出講講座
- (1) 土曜子ども教室
- | | |
|-------------|--|
| ① 実施期間 (日数) | 平成 27 年 4 月 4 日～平成 28 年 3 月 26 日 (44 日間) |
| ② 参加者数 | 子ども 811 名、大人 419 名、合計 1,230 名 |
| ③ 実施概要 | 毎週土曜日、1 日 3 回、各約 60 分、小学校・中学校の児童及び生徒を対象に実施、美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、名品コレクション展示室で展示解説を実施。 |
- (2) 大名の歴史と文化伝承プログラム「夏休み子ども歴史教室」
- | | |
|---|---------------|
| ① 名古屋市立小学校及び中学校、他にポスター配布 (500 枚) | |
| ② ギャラリー・クイズ (平成 27 年 8 月 1 日～8 月 30 日) | 参加者数計 1,543 名 |
| ③ 小学生及び中学生の歴史教室「戦国時代」(平成 27 年 8 月 1 日～8 月 30 日) | 参加者数計 1,248 名 |

- ④ 歴史文化体験「遊んで作ろう、貝あわせ」(平成 27 年 8 月 1 日～8 月 30 日) 参加者数計 669 名
- ⑤ 自由研究(平成 27 年 8 月 11 日,12 日) 参加者数計 37 名
- (3) 体験学習・校外学習の受入れ
- ① 体験学習
貝あわせ、刀解体組立、火縄銃に触れる、甲冑着装、子ども出世すごろく等を体験後、館内を見学。
小学校 5 校、参加者数計 333 名
中学校 12 校、参加者数計 634 名
高等学校 2 校、参加者数計 38 名
大学法人 8 校(留学生含む)、参加者数計 258 名
- ② 校外学習
美術館紹介と作品解説
小学校 5 校、参加者数計 111 名
中学校 8 校、参加者数計 113 名
高等学校 1 校、参加者数計 15 名
大学法人 1 校、参加者数計 60 名
16. 中学・高校・大学職場体験(インターンシップ)、職場訪問の受入れ
- (1) 職場体験
中学校 3 校、参加者数計 14 名、教諭 1 名を受け入れた。
- (2) 職場訪問
3 校、参加者数計 27 名を受け入れた。
17. 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー
平成 27 年 8 月 4 日 参加者数計 20 名
18. 協賛事業
- (1) 愛知県博物館協会総会および実行委員会に参加
- (2) 第 94 回名古屋市文化史教室(事業提携)
夏休み子ども教室を名古屋市と共催
- (3) チャンピン二胡演奏会
平成 27 年 4 月 12 日
- (4) 中日文化センターとの連携
「尾張徳川家の秘蔵コレクション」
平成 27 年 10 月 22 日 源氏物語絵巻を読み解く 学芸部部长 四辻 秀紀
平成 27 年 11 月 26 日 歴史の中で見る徳川美術館のコレクション 学芸部部长代理 原 史彦
平成 27 年 12 月 24 日 刀剣探訪 鯨尾藤四郎と名刀コレクション 学芸部学芸員 並木 昌史
平成 28 年 1 月 28 日 見学会 徳川美術館の珍品・迷品をみる 学芸部学芸員 薄田 大輔・
学芸部学芸員 加藤 祥平
平成 28 年 2 月 25 日 コレクションが語る蓬左文庫のあゆみ
家康の蔵書から尾崎コレクションまで 名古屋蓬左文庫長 桐原 千文 氏
平成 28 年 3 月 24 日 将軍家光の娘・千代姫 初音の調度 学芸部マネージャー 吉川 美穂
- (5) 「文化のみち 雛巡りスタンプラリー」
文化のみち 6 施設と連携し、各施設で雛祭り関連を企画、ちらし 10,000 枚配布 参加者数計 4,796 名
- (6) 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」
平成平成 28 年 2 月 6 日～3 月 13 日
- (7) 団体受入れ
- ① 団体解説・体験受け入れ
平成 27 年 4 月 10 日 トヨタグループ世界大会 1 件、94 名

平成 27 年 5 月 10 日	東海東京証券	1 件、 70 名
平成 27 年 5 月 29 日	ローズ倶楽部	1 件、 24 名
平成 27 年 8 月 8 日	JAF デー	1 件、 120 名
平成 27 年 11 月 6 日	名古屋コンベンションビューロー	1 件、 39 名
平成 27 年 11 月 18 日	東海東京証券、日経アカデミー	2 件、 150 名

② 体験講座 ―日本の伝統文化にふれる―

聞香	23 件	参加者数計 416 名
貝あわせ	12 件	参加者数計 321 名

(8) 特別観覧

平成 27 年 4 月	櫻井 利佳 氏 (上野学園大学日本音楽史研究所)
平成 27 年 7 月	坂本 亮太 氏 (和歌山県立博物館)
平成 27 年 7 月	野田 麻美 氏 (静岡県立美術館)
平成 27 年 7 月	花下 智秀 氏 ((株)淡交社) ほか 1 名
平成 27 年 7 月	柴田 美穂 氏 (新潮社)
平成 27 年 8 月	伊熊 泰子 氏 (新潮社) ほか 4 名
平成 27 年 8 月	中村 晶子 氏 (堺市文化財課) ほか 2 名
平成 27 年 9 月	伊藤 達雄 氏 ((株)インテント) ほか 7 名
平成 27 年 9 月	浅岡 優 氏 (西尾市教育委員会事務局文化振興課) ほか 4 名
平成 27 年 9 月	三本松 倫代 氏 (神奈川県立近代美術館)
平成 27 年 10 月	梅原 高実 氏 (ユニオン映画(株)) ほか 6 名
平成 27 年 10 月	植木 宏 氏 (凸版印刷(株)情報コミュニケーション事業本部) ほか 6 名
平成 27 年 10 月	梅内 庸平 氏 (NHK 名古屋放送局) ほか 5 名
平成 27 年 10 月	梅内 庸平 氏 (NHK 名古屋放送局) ほか 4 名
平成 27 年 10 月	梅内 庸平 氏 (NHK 名古屋放送局) ほか 3 名
平成 28 年 1 月	佐々木 佳美 氏 (福井市立郷土歴史博物館)
平成 28 年 1 月	徳永 貞紹 氏 (佐賀県立九州陶磁文化館) ほか 1 名
平成 28 年 1 月	内山 淳一 氏 (仙台市博物館)
平成 28 年 3 月	橋本 雄 氏 (北海道大学大学院文学研究科) ほか 10 名
平成 28 年 3 月	佐藤 一信 氏 (愛知県陶磁美術館学芸課長) ほか 1 名
平成 28 年 3 月	梅内 庸平 氏 (NHK 名古屋放送局) ほか 7 名
平成 28 年 3 月	河田 昌之 氏 (大阪芸術大学芸術学部教授) ほか 1 名

(9) 館長講演活動

- ① 平成 27 年 4 月 10 日 トヨタグループ世界大会 (徳川美術館 団体観覧)
演題「文化を守る」
- ② 平成 27 年 6 月 15 日 西光庵「開山 200 年記念講演」
演題「文化を守る」
- ③ 平成 27 年 9 月 28 日 電気・電子・情報関係学会 東海支部連合会
演題「文化を守る」
- ④ 平成 27 年 11 月 7 日 法政大学卒業生の集い 愛知大会
演題「文化を守る」
- ⑤ 平成 27 年 11 月 16 日 三菱東京 UFJ 銀行 会員限定招待企画 (徳川美術館 貸し切り開館)
演題「文化を守る―国宝『源氏物語絵巻』を中心として―」
- ⑥ 平成 27 年 11 月 30 日 広島中央ロータリークラブ記念例会
演題「文化を守る」

19. ボランティア業務の運営

- (1) 登録者数
336名（前年度381名、継続率88%）
- (2) 展示解説
- ① 平日の解説
 - ② 土曜日・日曜日・祝日の展示解説
 - ③ 土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習又は団体学習
 - ④ 申込み団体への解説
- | | |
|----------------------------|-------------|
| 概要解説 | 139件、2,973名 |
| 体験講座（聞香・貝あわせ）－日本の伝統文化にふれる－ | 35件、377名 |
- ⑤ 英語対応台本作成
- (3) 行事
- ① 平成28年3月13日 懇親会
 - ② 平成28年3月30日 ボランティア定年御礼会
- (4) 研修
- ① 平成27年4月15日 新規受付ボランティア懇親会 参加者数計154名
 - ② 平成27年4月17日 名古屋東照宮見学会 参加者数計10名（対象者数12名）
- (5) その他の活動
- ① 学芸部・管理部業務支援 1名
 - ② 特別専任ボランティア 12名
 - ③ 講座等題字作成 1名
 - ④ 館内生け花 1名
 - ⑤ 平成27年5月30日 視覚障がい者受入対応
- (6) 他館との交流
- ① 平成27年10月8日 兵庫県立近代美術館ボランティア 37名
 - ② 平成27年11月19日 安城市美術博物館ボランティア 16名

[4] 展覧会

1. 名品コレクション展示（第1～第6展示室）

「大名の生活と文化」

展示期間：1か月毎に展示替え

来館者数計18,922名（企画展示期間を除く）

2. 企画展示（第7～第9展示室）

(1) 平成27年4月11日～5月31日

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念春季特別展

「全点一挙公開 国宝 初音の調度 ー日本一の嫁入り道具ー」（名古屋市蓬左文庫・朝日新聞社共催）

来館者数計37,301名

(2) 平成27年6月13日～7月26日

企画展示「対極の美 ー白と黒がおりなす世界ー」（日本経済新聞社共催）

来館者数計20,584名

(3) 平成27年8月1日～9月13日

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念夏季特別展

「没後400年 徳川家康 ー天下人の遺産ー」（名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催）

来館者数計34,404名

(4) 平成27年9月19日～11月8日

徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念秋季特別展

「茶の湯の名品」(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)

来館者数計 36,852 名

(5) 平成 27 年 11 月 14 日～12 月 6 日

徳川美術館・蓬左文庫開館 80 周年記念特別展

「全点一挙公開 国宝 源氏物語絵巻」(中日新聞社・日本経済新聞社・NHK 名古屋放送局共催)

来館者数計 51,146 名

(6) 平成 28 年 1 月 5 日～1 月 31 日企画展示

「知られざる徳川美術館コレクション ―珍品・奇品・迷品!?!―」(日本経済新聞社共催)

来館者数計 11,656 名

(7) 平成 28 年 2 月 11 日～4 月 10 日

徳川美術館・蓬左文庫開館 80 周年記念特別展

「尾張徳川家の雛まつり」(中日新聞社共催)

来館者数計 42,983 名(平成 28 年 4 月分含む)

※ 企画展来館者総数： 計 234,926 名

※ 平成 27 年度来館者総数： 計 253,848 名

3. 特別展示(第 2 展示室)

平成 28 年 2 月 27 日～3 月 6 日

特別公開 千利休 泪の茶杓

来館者数計 10,773 名

4. 特別観覧

(1) 名香鑑賞会

平成 27 年 5 月 2 日～3 日(2 日間)

来館者数計 440 名

(2) 徳川茶会

平成 27 年 10 月 11 日,12 日,18 日,24 日,25 日,31 日,11 月 1 日,3 日

来館者数計 2,434 名

5. 蓬左文庫展示(展示室 1・2)

(1) 平成 27 年 4 月 11 日～6 月 7 日

「尾張の茶道と香道」(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)

(2) 平成 27 年 6 月 10 日～7 月 26 日

「異国への窓 ―阿蘭陀・波斯・印度―」(展示室 1)

「殿様が愛した鳥たち」(展示室 2)

(3) 平成 27 年 8 月 1 日～9 月 13 日

徳川美術館・蓬左文庫開館 80 周年記念夏季特別展

「没後 400 年 徳川家康 ―天下人の遺産―」(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)

(4) 平成 27 年 9 月 19 日～11 月 8 日

徳川美術館・蓬左文庫開館 80 周年記念特別展

「豊かなる朝鮮王朝の文化」(名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)

(5) 平成 27 年 11 月 14 日～12 月 13 日

「源氏物語の世界 ―平安の恋物語―」

(6) 平成 28 年 1 月 5 日～4 月 10 日

徳川美術館・蓬左文庫開館 80 周年記念特別展

「コレクションが語る蓬左文庫のあゆみ」

6. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

(1) 平成 27 年 4 月 4 日～6 月 28 日

- 純金台子皆具（重要文化財）等、計 7 点
 大阪市立東洋陶磁美術館 17 世紀の唐物 豊臣から徳川へ
- (2) 平成 27 年 4 月 7 日～5 月 17 日
 芒燕図屏風（重要美術品）等、計 2 点
 京都国立博物館 桃山時代の狩野派
- (3) 平成 27 年 8 月 7 日～10 月 4 日
 百花百草図屏風（重要文化財）
 愛知県美術館 芸術植物園
- (4) 平成 27 年 9 月 19 日～11 月 1 日
 天皇撰関御影（重要文化財）
 和歌山県立博物館 弘法大師と高野参詣
- (5) 平成 27 年 10 月 24 日～12 月 6 日
 後小松天皇宸翰等、計 3 点
 五島美術館 一休 とんち小僧の正体
- (6) 平成 27 年 12 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日
 初音蒔絵旅香具箱（国宝）、等
 九州国立博物館 海の道、アジアの路
- (7) 平成 27 年 12 月 16 日～平成 28 年 2 月 7 日
 長谷寺縁起絵巻等、計 4 点
 サントリー美術館 水 神秘のかたち
- (8) 平成 28 年 1 月 9 日～2 月 14 日
 和漢朗詠集抄等、計 3 点
 出光美術館 文字の力・書のチカラⅢ 書の流儀
- (9) 平成 87 年 2 月 2 日～3 月 13 日
 石清水八幡遷座縁起絵（重要文化財）等、計 2 点
 九州国立博物館 祈りのかたち 八幡
- (10) 平成 28 年 2 月 6 日～3 月 21 日
 南蛮胴具足（寄託品）
 豊田市郷土資料館 家康の遺宝 ー松平から徳川へー

[5]編集

1. 特別展図録作成

- | | | |
|-----------------------------|-----------|--------|
| (1) 夏季特別展「徳川家康」編集及び図版解説 | 学芸部部長代理 | 原 史彦 |
| (2) 夏季特別展「徳川家康」釈文・読み下し集 | 学芸部部長代理 | 原 史彦 |
| (3) 秋季特別展「茶の湯の名品」 | | |
| ① 徳川美術館の茶道具 | 学芸部学芸員 | 吉富 真知子 |
| ② 作品解説 | 学芸部部長 | 四辻 秀紀 |
| | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |
| | 学芸部学芸員 | 並木 昌史 |
| | 学芸部学芸員 | 薄田 大輔 |
| | 学芸部学芸員 | 吉富 真知子 |
| ③ 用語解説 | 学芸部部長代理 | 原 史彦 |
| (4) 特別展「豊かなる朝鮮王朝の文化ー交流の遺産ー」 | | |
| 作品解説 | 学芸部部長 | 四辻 秀紀 |
| | 学芸部マネージャー | 吉川 美穂 |

学芸部学芸員	並木 昌史
学芸部学芸員	薄田 大輔
学芸部学芸員	吉富 真知子

(5) 特別展「国宝 源氏物語絵巻」

① 国宝 源氏物語絵巻

ーこれにこそ道々しくくわしきことはあらめー

学芸部部長	四辻 秀紀
-------	-------

② 国宝 源氏物語絵巻の伝来と模本 江戸から昭和まで

学芸部マネージャー	吉川 美穂
-----------	-------

③ 各章解説・帖解説・場面解説・登場人物の年立

学芸部部長	四辻 秀紀
-------	-------

④ 用語解説・源氏物語絵巻主要登場人物略解

学芸部マネージャー	吉川 美穂
-----------	-------

(6) 初めての源氏物語 全五十四帖のあらすじ

副館長	市橋 康吉・
-----	--------

学芸部マネージャー	下畑 いつこ
-----------	--------

2. 金鯨叢書

(1) 徳川家康三方ヶ原戦役画像の謎

学芸部部長代理	原 史彦
---------	------

(2) 新出の「名古屋東照宮祭礼図屏風」について

学芸部マネージャー	吉川 美穂
-----------	-------

(3) 狩野惟信筆「戸山荘八景図巻」について

ー江戸狩野派の庭園図表現ー

学芸部学芸員	薄田 大輔
--------	-------

(4) 尾張徳川家伝来「筆筈譜」について

学芸部学芸員	並木 昌史
--------	-------

(5) 「尾張徳川美術館」設計懸賞

総務部非常勤研究員	香山 里絵
-----------	-------

3. 雛図録コンパクト版

雛図録コンパクト版の増刷は未実施。

4. 蔵品抄②源氏物語絵巻

国宝 源氏物語絵巻を作成し、蔵品抄②源氏物語絵巻作成は未実施。

5. 英文パンフレット

英語版ガイドブックを作成し、英文パンフレット作成は未実施。

[6]尾張徳川家伝来裂類の共同調査

今年度の実施は見送り、次年度事業にあらためて計画することとした。

[7]図書

1. 図書

(11) 購入 (計 142 冊)

「唐宋山水画研究」(竹浪遠編/中央公論美術出版)

「江戸期おんな表現者事典」(柴桂子監修・桂文庫編・著)/現代書館)

「江戸の服飾意匠」(大久保尚子著/中央公論美術出版)

「古筆資料の発掘と研究」(池田和臣著/青簡舎)

「新・国史大年表」(国書刊行会)

「史料纂集 古記録編」(八木書店)ほか

(12) 受贈 (計 324 冊)

「日本文化事典」(神崎宣武・白幡洋三郎・井上章一編/丸善)

「正倉院宝物と古代の技」(木村法光編/思文閣出版)ほか

2. 雑誌

(1) 購入 (計 290 冊)

「國華」(國華編集委員会編/國華社)

「佛教芸術」(佛教藝術學會編、毎日新聞社)

「美術史学研究」(韓國美術史學會)

「文物」(文物編集委員会/文物出版社)
「故宮學術季刊」(國立故宮博物院) ほか
(2) 受贈 (計 2,183 冊)
「茶道の研究」(日本茶道学会/三徳庵)
「美術研究」(東京文化財研究所)
「MUSEUM」(東京国立博物館)
「茶の湯文化学」(茶の湯文化学会) ほか

[8]館蔵品コンピューター入力

1. キャプション作成
2. 展示作品リスト (来館者用) 作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力
5. 展覧会紹介文 (英文)

[9]広報活動

1. 来館者誘致活動

(1) 団体来館者の利用促進

- ① 旅行会社への働きかけ (関東、近畿、北陸、東海の大手旅行社・バス会社)
- ② PTA、大学同窓会など教育関連団体への働きかけ
- ③ 学会・協議会などへの会場貸出の資料送付
- ④ 地元企業への営業活動、社内報への記事掲載
- ⑤ 名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- ⑥ 大学メンバーシップのルートを使用して展覧会等の情報提供を実施

(2) 個人来館者の利用促進

- ① 旅行会社、名古屋鉄道への広報宣伝協力要請
各旅行会社の個人旅行向けパンフレットに情報掲載 (JTB、近畿日本ツーリスト、JR 東海)
- ② 前売券の販売促進
百貨店友の会 4 店舗で販売を実施 (利用実績 : 3,733 枚)
チケットぴあ、ローソンチケットにて前売券を販売 (利用実績 : 2,449 枚)
他にプレミアムチケット、東海地方 4 県の生活協同組合で販売
愛知県生活協同組合で割引券の取扱い開始
福利厚生クラブ (RELO CLUB) にて入館券の割引提携開始
名古屋市交通局定期券販売所 (名古屋・栄・金山駅) にて販売
トヨタ自動車福利厚生事業のカフェテリアプランにて前売券を販売
東京ビッグサイトで開催された刀剣イベントにて前売券を販売 (購買実績 : 250 枚)
愛知県警察互助会との利用提携開始
- ③ 近隣の地域・施設・組織との連携
大曽根商店街との連携 (駅から道沿いの店舗でポスターの掲示)
瀬戸市観光協会と雛まつり展の相互 PR 連携
東区・北区において「聞香体験会」チラシ配布時に町内会ネットを利用
JR・地下鉄のウォーキング時に割引券付きチラシを配布
- ④ 各団体と連携したスタンプラリーを実施
名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施 (4 月・9 月)
愛知観光協会と産業観光スタンプラリーを実施 (6 月)

- ⑤ 定期的に各体験講座を実施
和の香りを楽しむ聞香体験講座（7月・11月）

- ⑥ 「賛助会」および「友の会」
賛助会会員向け企画展内覧会を開催
「友の会」については、平成27年度会員に会員更新案内を送付（平成28年2月）
会員数推移状況（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）
賛助会

種別	前期末	入会	退会	今期末	前年度比
個人	129	9	21	117	▲12
家族	27	0	0	27	0
法人	56	1	3	54	▲2

友の会

種別	前期末	入会	退会	今期末	前年度比
一般	360	105	89	376	+16
情報	27	6	8	25	▲2

※一般会員のうち、19名が半期入会（4,320円）の会員

- ⑦ 「刀剣乱舞」同人誌即売会イベントへの参加
平成27年5月5日、於 東京ビッグサイト
目的および成果
徳川美術館を広域に周知する目的で参加
徳川美術館がYahoo!検索ワード第1位になるなど、大きな広報効果が見られた
販売物および広報媒体等
オリジナルグッズ、チケットの販売
各種展覧会告知、「対極の美」展覧会ちらし3,000枚を配布
- ⑧ 松井玲奈氏（女優）を起用した80周年行事PRの実施
効果
著名人の登用でYahoo!ニュースに掲載、把握プレビュー約30万名
松井氏と関連の深い近鉄百貨店・農協観光・パルコ・大須商店街等、ポスター掲出が容易ではない企業から依頼があった。
広報活動
80周年限定Twitterアカウントによる情報発信
松井氏を起用したポスター300枚の作成・配布
名古屋駅デジタルサイネージを利用し、「国宝 源氏物語絵巻展」公開と絡めたPR
- ⑨ マスメディアへの情報提供
文化記者クラブへ毎月1回参加 企画展示・各種イベントの取材依頼
主要メディアに対するFAXでのプレスリリース配信
取材実績のある記者に対し、個別のプレスリリース配信
- ⑩ 企画展示期間中アンケート実施（来館者満足度調査）
徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展「全点一挙公開 国宝 源氏物語絵巻」
徳川美術館・蓬左文庫開館80周年記念特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2. 外国人対応パンフレット

- (1) 掲載内容 企画展示用の概要紹介
(2) 作成部数 企画展示ごとに400部作成

3. 雑誌・報道広報資料作成（ポスター・ちらし・ニュースレター）

- (1) ポスター・ちらし
企画展示毎に作成
- (2) ニュースレター
 - ① 企画展
全点一挙公開 国宝 初音の調度
対極の美 ー白と黒がおりなす世界ー
徳川家康 ー天下人の遺産ー
茶の湯の名品
全点一挙公開 国宝 源氏物語絵巻（修理に伴う新知見発表）
知られざる徳川美術館コレクション ー珍品・奇品・名品!? ー
尾張徳川家の雛まつり
 - ② 特別公開 泪の茶杓
 - ③ 各種講座
定期研究発表会、記念講演会、土曜講座、夏期講座、能楽講座、古文書入門講座、土曜子ども教室、夏休み子ども特別企画
 - ④ 各種イベント
刀剣ファンビギナーズアンコール、親と子の甲冑教室、80周年黄金茶会、十二単着装公開、オリジナル香り袋・文香づくり
 - ⑤ 式典
700万人達成記念式典、80周年記念式典
 - ⑥ その他
トクさんミュージアムキャラクターアワード優勝、80周年ビジュアルキャラクターに松井玲奈氏起用
4. ホームページ・Facebookの更新
ホームページ、Facebookの掲載情報を随時更新した。
多様化する端末機器に合わせて表示できるようホームページをリニューアルした。
併せてビジュアルの強化と経費削減を図った。
英語版美術館紹介プログラム「Simpleshow」を公開した。
Wi-Fi設備設定、Wi-Fi用アプリケーションの作成・実験配信を実施した。
5. 賛助会・友の会会員拡大のための誘致
 - (1) Twitterの活用
Twitterを活用して、友の会会員誘致を実施した。
 - (2) 文書発送
現会員への継続加入に係る依頼文書を発信した。
6. 大学メンバーシップの拡大と維持
平成27年度は、刀剣ブームを受けて、学生の要請により名古屋造形大学が5月から再加盟。愛知淑徳大学の教職員新規加入、愛知学院大学は、昨年度の教職員新規加盟に伴い、当年度から同法人の運営する短期大学及び専門学校を新規加入対象とした。
加盟校等一覧（計30校）
愛知学院大学^{*}、愛知学院大学短期大学部^{*}、愛知学院大学歯科技工士専門学校^{*}、愛知県立芸術大学^{*}、愛知県立大学^{*}、愛知工業大学^{*}、愛知産業大学^{*}、愛知淑徳大学^{*}、桜花学園大学^{*}、名古屋短期大学^{*}、金城学院大学、椋山女学園大学、中京大学^{*}、中部大学^{*}、東海学園大学^{*}、同朋大学^{*}、名古屋工業大学OB会、名古屋大学^{*}、名古屋工業大学^{*}、名古屋学院大学^{*}、名古屋外国語大学^{*}、名古屋芸術大学^{*}、名古屋市立大学、名古屋造形大学^{*}、南山大学^{*}、名城大学、名古屋文化短期大学^{*}、名古屋学芸大学^{*}、名古屋学芸短期大学^{*}、

名古屋ファッションビューティー専門学校※

(※印の大学法人等は教職員も加入)

7. 閉館後・休館日等における時間外の利用誘致

(1) 時間外貸出し

平成 27 年 4 月 1 日 山新観光(株)
平成 27 年 11 月 28 日 (株)日本経済新聞社

(2) 休館日貸切

平成 27 年 11 月 16 日 (株)JTB
平成 27 年 11 月 30 日 クラブツーリズム(株)
平成 28 年 3 月 7 日 クラブツーリズム(株)

8. 刊行物作成・配布

(1) ポスター・パンフレット

徳川美術館パンフレット
三館合同パンフレット (和文)
土曜子ども教室ポスター・パンフレット
夏休み子ども歴史教室 ポスター

(2) 割引券・年賀状・招待券

(3) 優待券

(4) 美術館だより「葵」

平成 27 年 4 月 1 日 (第 94 号刊行)

エッセイ「過去・現在・未来」

和泉流野村派十四世当主 野村 又三郎 氏

平成 27 年 7 月 1 日 (第 95 号刊行)

エッセイ「徳川公儀の確立過程」

静岡大学名誉教授 本多 隆成 氏

平成 27 年 10 月 1 日 (第 96 号刊行)

私の好きな名品

愛知芸術文化センター総長 神田 真秋 氏
茶道資料館副館長 筒井 紘一 氏
歌舞伎役者五代目 中村 時蔵 氏
名古屋ボストン美術館館長 馬場 駿吉 氏

平成 28 年 1 月 1 日 (第 97 号刊行)

エッセイ「地域に親しまれつづける美術館に」

(一社)中部経済連合会会長 三田 敏雄 氏

9. 取材実績

(1) 展覧会

テーマ

	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌等
① 全点一挙公開 国宝初音の調度	3	2	0
② 対極の美 一白と黒がおりなす世界一	2	2	0
③ 徳川家康	2	1	0
④ 茶道具の名品/豊かなる朝鮮王朝の文化テープカット	2	1	0
⑤ 全点一挙公開 国宝源氏物語絵巻 (新発見)	9	5	3
⑥ 知られざる徳川美術館コレクション	2	2	0
⑦ 尾張徳川家の雛まつり	3	5	1
⑧ 特別公開 泪の茶杓	1	0	0
⑨ 鯨尾藤四郎、刀剣女子	2	2	5
⑩ 展示品撤去 (水指)	1	0	0

(2) 催事

テーマ	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌等
① 刀剣ファンビギナーズアンコール	2	2	0
② 名香鑑賞会	1	0	0
③ 親と子の甲冑教室	1	0	0
④ 緊急開催！徳川家康展 出展刀剣を語る	0	2	0
⑤ トクさん優勝	2	1	1
⑥ 80周年松井玲奈氏起用	1	0	2
⑦ 700万人突破	3	1	0
⑧ 十二単着装公開	1	0	0

(3) テレビ番組等放映

- ① BS日テレ「ぶらぶら美術博物館」
- ② BS日テレ「日本黄金紀行」
- ③ テレビ愛知「探Q!A トリップ」
- ④ テレビ朝日「林修の博物館バラエティー」
- ⑤ NHK「ミュージックジャパン」
- ⑥ テレビ朝日「トコロさんの日本の出番」

10. 雑誌掲載

(1) 芸術系

- ① 芸術新潮 10月号「千宗屋の飲みたい茶碗・点てたい茶碗」
- ② 和楽 12月号「国宝源氏物語絵巻」付録コラボレーション（和楽の大型新聞広告も付随）
- ③ 家庭画報 2月号「黄金の国宝」ほか

(2) 生活情報系

Clife、咲楽、クラブナゴヤ、月刊なごやか、フリモ、ぴあ×スターキャットほか

(3) その他

刀剣ブームの影響により、「SPA!」「女性自身」「日本語学習」等、過去に掲載実績のない系譜の雑誌からの掲載依頼があった。

11. 有料広告掲載

中日新聞社（尾張徳川家の雛まつり）、朝日新聞社（国宝 源氏物語絵巻）、毎日新聞社（国宝 源氏物語絵巻）、名古屋駅サイネージ（国宝 源氏物語絵巻・開館80周年記念）、キラッ都ナゴヤ（毎月）、名古屋アートニュース（隔月）、JAF メイト（徳川家康・国宝 源氏物語絵巻）、名古屋市バス・地下鉄タイヤアップ（徳川家康）、地下鉄構内ポスター掲示（常設）、大曽根駅南口看板、大曽根駅北口看板、地下鉄車道駅三館共通看板、電柱看板（常設）

[10]管理

1. 建物・設備・庭園の営繕工事・管理を実施

- (1) 非常照明用バッテリー取替
- (2) 屋上防水層トップコート塗装
- (3) 駐車場車輪止め改修
- (4) 講堂用空調機防水工事
- (5) 受変電設備計器用変圧器取替
- (6) 空調自動制御用直流電源取替
- (7) 空調自動制御用リモートユニットバッテリー取替
- (8) 展示室照明管球取替
- (9) 本館シリンダー錠取替

- (10) コーヒーラウンジエアコン修繕
 - (11) 消防設備不具合箇所取替
 - (12) 敷地内と周辺民家に隣接する樹木の管理
中庭芝生養生作業、坪庭苔養生作業
 - (13) 茶室と周辺庭園整備（竹仮設屋根立て替え、竹結界作成）
2. 建物維持管理の強化
- (1) 電気設備・給排水衛生設備・空調設備の更新計画を策定中
 - (2) 自動火災報知装置の更新計画を策定中
 - (3) 本館・北蔵前の耐震工事に向けての準備作業を実施
 - (4) 大型エレベーター取替を検討中
- ※ 本館・収蔵庫屋根瓦修繕計画は未策定

[11]第 24 回徳川美術館運営懇話会の開催

1. 開催日時：平成 27 年 9 月 3 日／16 時 30 分から 17 時 45 分まで
2. 開催場所：徳川美術館貴賓室
3. 出席委員：（計 7 名）

愛知県知事	大村 秀章 氏
名古屋市市長	河村 たかし 氏
名古屋鉄道(株)取締役相談役	河野 英雄 氏
(株)三菱東京 UFJ 銀行顧問	古角 保 氏
名古屋商工会議所会頭	岡谷 篤一 氏
トヨタ自動車(株)顧問	立花 貞司 氏
(公財)徳川黎明会会長（徳川美術館館長）	徳川 義崇
4. 欠席委員：（計 2 名）

(一社)中部経済連合会会長	三田 敏雄 氏（運営懇話会座長）
中部電力(株)代表取締役社長	水野 明久 氏
5. 議事進行：
 - (1) 議題 1 委員交代の件
水野明久氏（中部電力(株)代表取締役社長）が退任、勝野哲氏（同社代表取締役）が後任
 - (2) 議題 2 徳川美術館の運営報告
市橋康吉徳川美術館副館長が平成 26 年度の展覧会事業等を報告
長谷峰生徳川美術館管理部長代理が平成 26 年度の収支決算を報告
 - (3) 議題 3 徳川美術館の耐震補強工事実施の説明
市橋康吉徳川美術館副館長が平成 28 年度に実施する本館等の耐震補強工事の概要を説明

[12]徳川園調整会議、業務・企画会議への参加

1. 徳川園調整会議
 - (1) 開催日時：平成 28 年 1 月 28 日／10 時 00 分から 11 時 30 分まで
 - (2) 開催場所：徳川美術館会議室
 - (3) 議事進行：
 - ① 報告事項
各施設の年度実績と次年度事業計画について
徳川美術館・名古屋市蓬左文庫開館 80 周年記念事業について

本館耐震補強工事等に伴う徳川美術館本館閉室について
登録有形文化財の看板について

② 協議事項

名古屋城・徳川園・徳川美術館の共通券について
外国人誘致について（外国語パンフレットの作成）

③ その他

連携事業（正月事業、夜間開館）

2. 徳川園企画・業務部会

(1) 開催日時：平成 28 年 1 月 15 日／15 時 00 分から 16 時 30 分まで

(2) 開催場所：名古屋市蓬左文庫応接室

(3) 議事進行：

① 各施設事業の実施状況

② 来年度の事業計画の概要

③ 徳川園調整会議にむけて諸調整

[13]他の美術館・博物館との連携

1. 私立美術館会議（平成 3 年より）

平成 27 年 10 月 23 日 第 24 回私立美術館会議（於、あべのハルカス美術館）

2. 大名道具収蔵館研究会（平成 4 年より）

平成 27 年 12 月 16 日 第 22 回研究会（於、彦根城博物館）

[14]「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）の使途

1. 事業名称：国宝 紙本著色 源氏物語絵巻 美術工芸品保存修理事業

2. 交付機関：文化庁、愛知県、愛知県教育委員会

3. 文化財名：国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面（紙本著色 源氏物語絵巻）

平成 24 年度着手、平成 27 年度完了を予定する文化財関係国庫補助事業として、「国宝 源氏物語絵巻 四十三面の内八面」の修理を行った。このうち、平成 26 年度分補助金として、平成 27 年 4 月 23 日付で国庫より交付を受けた。また、平成 26 年度分随伴補助金として、平成 27 年 5 月 26 日付で愛知県から県費の交付を受けた。なお、本事業にかかる平成 27 年度分補助金は、平成 28 年度に交付予定である。

[15]活動支援基金事業

1. 寄附金受付業務

(1) 寄附金額

平成 27 年度合計 16,417,248 円

① 平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

16,405,000 円（法人 27 件（42.90 口）、個人 280 件（1,211,50 口））

② 平成 27 年 11 月 20 日～平成 28 年 3 月 31 日（ミュージアムショップ募金箱）

12,248 円

(2) 各年度活動支援基金受付状況

区分	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人	10	3,540,000	11	1,510,000	6	600,000	27	4,290,000
法人	67	4,650,000	183	15,892,500	65	7,612,000	280	12,115,000
合計	77	8,190,000	194	17,402,500	71	8,212,000	307	16,405,000

2. 多額寄附者に対する感謝状贈呈（個人は 30 口以上、法人は 10 口以上）

(1) 個人会員（計 9 名、順不同）

後藤 宗理 氏、絹村 安代 氏、福島 佐千男 氏、中島 龍夫 氏、千藤 ひで 氏、柳 孝 氏、有馬 頼底 氏、
林 範子 氏ほか、匿名希望 1 名

(2) 法人会員（計 2 社、順不同）

(株)北芝建設、(一財)坂文種報徳会

3. 寄附金使途

平成 27 年度の寄附金支出はなかった。

[16]開館 80 周年記念事業

1. 開催日時：平成 27 年 11 月 13 日

2. 開催場所：徳川美術館／講堂

3. 出席者数：353 名

4. 式典内容：開会の辞	(公財)徳川黎明会専務理事	近松 真知子
式辞	(公財)徳川黎明会会長（徳川美術館館長）	徳川 義崇
来賓挨拶	名古屋市長	河村 たかし 氏
	(公財)五島美術館館長	五十嵐 正 氏
閉会の辞	(公財)徳川黎明会専務理事	近松 真知子

5. 閉会后：「国宝 源氏物語絵巻」展観覧、祝賀パーティー

6. 記念品：「国宝 源氏物語絵巻」1 冊、平成 28 年度卓上カレンダー1 点

[公 2]林政史の調査研究事業（徳川林政史研究所）

平成 27 年度は、徳川林政史研究所においては、『研究紀要』創刊 50 年の節目の年にあたり、林政史を中心とする増大号を発刊した。また、尾張徳川史編纂の基点として、藩祖徳川義直の事績をまとめた『源敬様御代御記録』第一巻を発刊した。あわせて、長年推進してきた若手研究者育成の成果として、大学・他機関に就職した研究所 OB から多大の寄附金をいただき、現在の若手研究生の育成に還元・活用することが定着しつつある。

[1]調査・研究

1. 研究

課題（開始年）	担当	
(1) 近世材木商の研究（平成 11 年）	徳川林政史研究所所長	竹内 誠
(2) 名古屋城の構造と儀礼に関する研究（平成 27 年）	徳川林政史研究所副所長	深井 雅海
(3) 尾張藩幕末維新史の研究（平成 24 年）	徳川林政史研究所研究員	藤田 英昭
(4) 近世弘前藩領における地域社会と山林（平成 26 年）	徳川林政史研究所非常勤研究員	萱場 真仁
(5) 近代山村史の研究（平成 26 年）	徳川林政史研究所特任研究員	加藤 衛 筑波大学教授
(6) 近世期入会地所有と山林資源の有効活用に関する研究（平成 26 年）	徳川林政史研究所非常勤研究生	高木 謙一
(7) 信州高島藩林見の基礎的研究（平成 27 年）	國學院大學栃木短期大學准教授	坂本 達彦

2. 研究会

(1) 平成 27 年 8 月 10 日	於、徳川林政史研究所 信州高島藩御林における盗伐取締り－近世後期を中心に－	坂本 達彦
(2) 平成 27 年 10 月 30 日	於、徳川林政史研究所 秋田藩における 19 世紀林政改革の基調－「山林取立」政策の立案と展開－ 近世牧周辺村々における林産資源の管理と利用－文政期以降を中心に－	芳賀 和樹 高木 謙一
(3) 平成 27 年 11 月 20 日	於、徳川林政史研究所 慶応三年における尾張藩の内部事情 近世後期から近代における屏風山と地域社会	藤田 英昭 萱場 真仁

3. 「尾張徳川史」編纂準備

- (1) 「源敬様御代御記録」（旧蓬左 138・4）のデータ化作業を行った。
- (2) 「瑞龍院様御代公辺御日記」（旧蓬左 143・5）のデータ化作業を行った。

4. 尾張徳川家関連古写真史料の研究

古写真史料の研究に資するため、引き続きガラス板古写真のデジタルデータ化を進めた。

[2]若手研究者の育成

1. 非常勤研究員・研究生による研究会の開催

(1) 第 1 回

平成 27 年 7 月 31 日	於、(公財)上廣倫理財団 UF ホール	
近世中期における幕府・忍藩の河川支配の分掌		出野 雄也
特別講話：江戸城という政治空間		深井 雅海
化政期における白河藩と海防		西田 安里
明治初期における一農民の新聞投書と建白		櫻庭 茂大
幕末期、改革組合村大惣代の「探索御用」と関東取締出役		藤井 明広
将軍代替における将軍への御祝儀献上について		吉成 香澄
幕末期における「郡中」の村の「買食之者」救済		栗原 健一

(2) 第2回

平成28年3月4日 於、豊島区民センター第13会議室

小田原藩国産方役所と御林炭生産

桐生 海正

御七夜御祝における贈答儀礼

塚田 沙也加

近世後期佐倉牧における林産資源の管理と活用

高木 謙一

特別講話：史料の読み方・歴史の捉え方

松尾 美恵子

京都学習院の丁祭

橋本 佐保

『源敬様御代御記録』について

川島 孝一

徳川林政史研究所所蔵「東武官邸記」について

渋谷 葉子

2. 非常勤研究員・研究生による史料整理

平成27年7月27日～8月7日 夏季集中史料整理

平成28年2月22日～3月3日 春季集中史料整理

3. 非常勤研究員・研究生の徳川美術館・名古屋市蓬左文庫見学研修

平成27年7月3日～7月4日 参加者数計2名（平成27年度新規採用非常勤研究生）

[3]編集・刊行

1. 『金鯢叢書』第43輯（『研究紀要』第50号）編集・刊行

平成26年度より徳川林政史研究所の単独発行を中止し、『金鯢叢書』に一本化した。『金鯢叢書』の林政史研究所執筆部分を『徳川林政史研究所研究紀要』として、単独刊行時からの通し番号を付与し、徳川林政史研究所の『研究紀要』とした。

将軍の言葉に見る格式

深井 雅海

将軍生母月光院をめぐる

松尾 美恵子

尾張家十二代徳川齊荘をめぐる幕藩関係と領国意識

白根 孝胤

慶応三年における尾張徳川家の政治動向

藤田 英昭

信州高島藩林政に関する一考察

坂本 達彦

秋田藩における一九世紀林政改革の基調

芳賀 和樹

津軽地方の「屏風山」と野呂武左衛門

萱場 真仁

[研究ノート]『源敬様御代御記録』について

川島 孝一

[史料紹介]阿仁銅山山麓における森林資源利用の均衡と対抗

芳賀 和樹・

渡部 圭一・

加藤 衛拓

2. 『金鯢叢書』第42輯（『研究紀要』第49号）寄贈・送付業務

印刷部数650冊（うち、寄贈・交換572冊）

[4]史料調査

1. 林政史アーカイブズ調査

(1) 平成27年6月23日 多摩市教育委員会所蔵史料調査

(2) 平成27年7月10日～7月14日 飛騨高山まちの博物館等所蔵史料調査

(3) 平成27年9月11日～9月13日 長野県立歴史館・立科町教育委員会所蔵史料調査

(4) 平成27年10月27日～10月28日 埼玉県立文書館所蔵史料調査

(5) 平成27年11月8日～11月12日 飛騨高山まちの博物館・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査

(6) 平成28年1月26日 国立公文書館つくば分館所蔵史料調査

(7) 平成28年1月30日 多摩市教育委員会所蔵史料調査

2. 研究資料の調査収集

- | | |
|------------------------------|------------------|
| (1) 平成 27 年 7 月 7 日 | 国立公文書館所蔵史料調査 |
| (2) 平成 27 年 9 月 5 日 | 日御碕神社（出雲市）所蔵史料調査 |
| (3) 平成 27 年 9 月 9 日～9 月 10 日 | 名古屋市蓬左文庫所蔵史料調査 |
| (4) 平成 27 年 11 月 27 日 | 国立公文書館所蔵史料調査 |

3. 研究用資料の撮影・収集

上記調査において、以下の通り写真撮影を実施した。

- (1) 飛騨高山まちの博物館所蔵史料（デジタルデータ 680 コマ）
- (2) 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ 1,414 コマ）
- (3) 長野県立歴史館所蔵史料（デジタルデータ 1,262 コマ）
- (4) 立科町教育委員会所蔵史料（デジタルデータ 571 コマ）
- (5) 多摩市教育委員会所蔵史料（デジタルデータ 198 コマ）
- (6) 埼玉県立文書館所蔵史料（デジタルデータ 2,122 コマ）
- (7) 国立公文書館つくば分館史料（デジタルデータ 1,475 コマ）
- (8) 国立公文書館所蔵史料（デジタルデータ 3,829 コマ）
- (9) 日御碕神社所蔵史料（デジタルデータ 79 コマ）
- (10) 名古屋市蓬左文庫所蔵史料（紙焼き 2,639 枚複写、マイクロ撮影 763 コマ）

[5]所蔵史料の整理

1. 史料整理・点検

- (1) 尾張徳川家文書の合綴史料を整理し、目録カードを作成した。
平成 27 年度は、1,004 点整理、見積総数*6,000 点のうち、計 5,528 点完了
- (2) 中村家文書を整理し、目録カードを作成した。
平成 27 年度作業開始、総史料点数 145 点のうち、145 点完了
- (3) 旧名古屋税務監督局所蔵史料番号確定作業を行い、目録を作成した。
総史料点数 3,312 点のうち、1,287 点完了
- (4) 蜂須賀家文書（追加分 29 点）の目録カードを作成し、総計 883 点の目録が完成した。
- (5) 王滝村松原家文書を整理し、総史料点数 601 点のうち、200 点の目録を作成した。
- (6) 三河国額田郡伊賀村文書の目録を作成した（総計 445 点）。
- (7) 三河国額田郡山畑村文書の目録を作成した（総計 48 点）。
- (8) 三河国額田郡永井村文書の目録を作成した（総計 7 点）。
- (9) 三河国額田郡土呂村文書の目録を作成した（総計 9 点）。
- (10) 三河国額田郡藤川宿文書の目録を作成した（総計 14 点）。
- (11) 三河国額田郡関係史料の目録を作成した（総計 62 点）。

※ 見積総数

各史料群の点数は、整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により、新たに史料が確認されて、点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては、現時点で「見積総数」と表記している。

2. 史料のデジタルデータ化

- (1) ガラス板古写真のデジタルデータ化（34 点 34 カット）
- (2) 史料のデジタルデータ化
 - ① 外部委託
デジタル撮影「大坂古戦場図」ほか、57 点 242 カット
フィルムのデジタル化「御日記」6,988 コマ
 - ② デジタルマイクロリーダープリンター導入による自館でのデジタルデータ化

[6]所蔵史料の目録刊行

1. 尾張徳川家文書目録（十二）を『金鯨叢書』第43輯（『研究紀要』第50号）に収録刊行した。
2. 石河家文書目録（十）を『金鯨叢書』第43輯（『研究紀要』第50号）に収録刊行した。

[7]教育・普及

1. 講座・講演

(1) 徳川林政史研究所公開講座・豊島区教育委員会共催

開催日付	主題	講師
平成27年9月10日	江戸幕府の材木御用達・中村屋七兵衛	竹内 誠
平成27年9月17日	木曾山の不思議 ーヒノキ林をめぐる利用と保全の軌跡ー	芳賀 和樹
平成27年9月24日	暮らしを守る森林ー弘前藩を中心にー	萱場 真仁
平成27年10月1日	将軍生母の位階昇進 ー桂昌院の従一位叙位ー	深井 雅海
平成27年10月8日	大奥女中の人事システム	吉成 香澄
平成27年10月15日	旗本の娘が見た江戸後期の大奥	藤田 英昭

(2) 徳川美術館主催「徳川林政史研究所古文書入門講座」に講師として参加した。

開催日付	主題	講師
平成27年6月6日	元禄の材木商・紀文と奈良茂	竹内 誠
平成27年6月13日	松の廊下刃傷事件	深井 雅海
平成27年6月20日	古文書に見る元禄の災害	萱場 真仁
平成27年6月27日	尾張徳川家の姫君と将軍綱吉	白根 孝胤
平成27年7月4日	絵島生島事件（一）	藤田 英昭
平成27年7月11日	絵島生島事件（二）	藤田 英昭

(3) その他の講演

講師	主題	主催者等
① 竹内 誠		
平成27年5月10日	歴史研究の愉しさ	江戸文化歴史検定協会
平成27年5月22日	江戸の暮らしと心意気	栃木県女性文化懇話会
平成27年6月13日	水の都江戸	中央区古典芸術鑑賞会
平成27年7月16日	日本の伝統文化	東京都市教育長会
平成27年9月11日	江戸庶民の知恵	交詢社
平成27年9月26日	相撲の歴史から学ぶ伝統と創造	須坂市立博物館文化講演会
平成27年10月31日	松平定信とその時代	桑名市博物館特別展記念
平成27年11月15日	元禄時代を生きた人びと	上廣倫理財団文化講演会
平成28年1月9日	江戸の暮らし	日本病態栄養学会年次学術集会
平成28年1月22日	大江戸の春	東京税理士会板橋支部研修会
平成28年1月30日	隅田川の遊び	たばこと塩の博物館特別展記念
平成28年3月19日	寛永寺ゆかりの大奥の女性たち	武蔵野文化協会
平成28年3月31日	江戸の花見	日本食生活文化財団総会記念
② 深井 雅海		
平成27年9月10日	江戸の観光ー江戸城と日本橋ー	玉川大学「日米共同授業」
平成27年12月3日	江戸城本丸御殿の構造と機能	サントリー文化財団

	—朝廷との関連・比較を中心に—	「天皇の近代」研究会
平成 28 年 2 月 27 日	浅野内匠頭刃傷事件	神奈川県土曜古文書会
平成 28 年 3 月 6 日	大岡越前守の人間関係	武蔵野ふるさと歴史館特別講演会
③ 藤田 英昭		
平成 27 年 8 月 29 日	幕末維新と武家の奥方	浦安歴史の会
平成 28 年 2 月 12 日	用筆筒資料に見る天璋院とその周辺	えどはくカルチャー (江戸東京博物館)

2. 書籍の編集・刊行

尾張徳川家に関する調査・研究の成果として、尾張家初代徳川義直の事績をまとめた「源敬様御代御記録」全 36 冊のうち、慶長 5 年から寛永 7 年までの 19 冊分を『史料纂集 古記録編 源敬様御代御記録』第一巻 (八木書店、平成 27 年 7 月 10 日発行) として刊行した。

3. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、『研究紀要』掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

4. 部外出講

明海大学	日本の歴史	前期・後期	藤田 英昭
学習院女子大学	学習院史	前期	藤田 英昭

5. 案内パンフレットの作成

外来者向けに徳川林政研究所案内パンフレットを作成した。

[8]所蔵史料データベースの構築及び保存

1. 尾張徳川家文書

尾張徳川家文書 (尾 5) の再整理を継続し、データ入力を行った。平成 27 年度は、589 点整理・データ入力、見積総数 2,375 点のうち、計 2,313 点完了。

2. 石河家文書

石河家文書のデータ入力を行った。平成 27 年度は、356 点整理・データ入力、見積総数 10,250 点のうち、計 6,223 点完了。

3. 松本城戸田家文書

松本城戸田家文書の再整理を実施し、データ入力を行った。平成 27 年度作業開始、総史料点数 504 点のうち、431 点完了。

[9]徳川美術館との連携

1. 展覧会への史料出陳

今年度徳川美術館への出陳はなかった。

2. 研究協力

歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川美術館学芸員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

[10]所蔵図書の整理

1. 図書整理

(1) 昨年度に引き続き、図書・雑誌のコンピューター入力を進め、新着図書 498 冊に対し、ラベル貼付並びに入力作業を行った。

2. 図書の購入・受贈

(1) 図書は『勘定奉行 川路聖謨関係史料第一巻』等 211 冊を購入。その他寄贈された図書 287 冊。

(2) 雑誌は『歴史学研究』等 165 冊を購入。その他寄贈された雑誌 409 冊。

[11] 閲覧・出陳・レファレンス業務

1. 史料閲覧

本研究所は、約 7 万 8,000 点の歴史資料（旧蓬左文庫所蔵史料・尾張徳川家文書・旧名古屋税務監督局所蔵史料・旧愛知県庁所蔵史料・写真資料など）を所蔵し、閲覧日を設けて定期的に所外研究者に対する閲覧の便宜を図っている。本年度の閲覧許可数は 38 件、延べ閲覧者数は 396 人にのぼった。

2. 所蔵史料の出陳

出陳機関：宮崎県総合博物館

展覧会名：「今昔、日本の妖怪～百鬼夜行からゲゲゲまで」展

会期：平成 27 年 7 月 18 日～8 月 31 日

出陳作品：「件と云獣」1

3. レファレンスへの対応

(1) 平成 27 年 8 月 20 日 國學院大學栃木短期大学「物と伝承の会」

担当教員の付き添いのもと、学生 6 名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。

(2) 平成 27 年 8 月 21 日 豊島区南池袋小学校 4 年生児童（「地域の伝統を調べよう」）

児童 1 名の施設見学及び財団の沿革調べに協力した。

(3) その他

閲覧来所者及び電話でのレファレンスに対応した。

[12] 史料写真の貸出及び複写サービス

1. 所蔵史料写真の貸出及び複写

受付総数計 105 件（林政史研究所直接受付 103 件、愛知県公文書館受付の紙焼き史料複写申請 2 件）

2. 蓬左文庫受付の二次複写申請

受付総数計 14 件（DVD からの複写 11 件、紙焼き史料の複写 3 件）

[13] 補助金関係

1. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（特定奨励費）

申請者名：(公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

研究事業：近世・近代の林政と地域社会に関する調査・研究・普及事業

交付機関：(独)日本学術振興会※

※ 平成 26 年度より特定奨励費の交付業務は文部科学省から(独)日本学術振興会へ移管されている。

2. 特定奨励費以外の科学研究費助成事業

(1) 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(B)

研究課題：高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相

交付機関：東京国立博物館 ((独)日本学術振興会)

研究分担者：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織

(2) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）

研究種目：若手研究(B)

研究課題：松平定信の情報収集活動－「よしの冊子」を中心に－

交付機関：(独)日本学術振興会

研究代表者：徳川林政史研究所 非常勤研究生 橋本 佐保

3. その他の競争的資金及び民間助成金等

助成金名：公益財団法人上廣倫理財団教育・研究・活動助成金

申請者名：徳川林政史研究所 所長 竹内 誠

助成事業：歴史学研究的発展に貢献できる若手研究者の育成

助成機関：(公財)上廣倫理財団

[14]他機関との連携・協力

1. 名古屋市蓬左文庫

徳川林政史研究所所蔵史料の一部を紙焼き及びデジタルデータで提供し、名古屋市蓬左文庫での閲覧公開に協力した。

2. (公財)徳川記念財団

徳川林政史研究所では、受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料、約 5,130 点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された(公財)徳川記念財団が、調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。

平成 27 年度は、(公財)徳川記念財団が実施した展示事業と閲覧 5 件について協力した。

期間	史料名 ((公財)徳川記念財団所蔵)	協力内容
平成 27 年 4 月 24 日	「民政裁判所勤仕御請仕候者共之儀ニ付申上候書付」等、7 件 17 点	閲覧対応
平成 27 年 5 月 19 日	「上 (徳川慶喜上書包紙)」等、17 件 31 点	閲覧対応
平成 27 年 12 月 1 日	「難波戦記」等、4 件 31 点	閲覧対応
平成 27 年 7 月 1 日～※	「孝明天皇宸筆」等、7 件 24 点	展示事業
平成 27 年 7 月 1 日～※	「日光御参詣行列書」等、3 件 4 点	展示事業

※ 現在継続中

[15]事業評価委員会の開催

1. 事業評価委員会

平成 28 年 3 月 14 日、外部委員による事業評価委員会が開催され、徳川林政研究所が実施した平成 27 年度事業について評価・講評を受けた。

[16]資産の取得

1. 什器備品

(公財)徳川黎明会本部 1 階玄関協応接室エアコン

(公財)徳川黎明会徳川林政史研究所作業室エアコン

2. 図書

購入 211 冊

受贈 189 冊

[17]設備管理

1. 建物・設備の営繕工事等

(1) 徳川林政史研究所作業室前床補修

(2) 徳川林政史研究所閲覧室窓用ブラインド交換 (1 箇所)

(3) 徳川林政史研究所 3 階書庫照明交換 (1 箇所)

(4) 徳川林政史研究所所長室エアコン修理及び部品交換

[18]活動支援基金

1. 寄附金受付業務

前年度に引き続き、徳川林政史研究所の実施事業を対象にした募金活動を行った。平成 27 年度の実績は以下のとおりである。

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

910,000 円（法人 0 件（0 口）、個人 24 件（91 口））

2. 寄附金の使途

平成 27 年度の寄附金支出はなかった。

Ⅲ.収益事業

[収 1]不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 外国人向け住宅
全6棟中5棟の賃貸を行った。
2. 賃貸住宅工事等による固定資産の取得
平成27年度賃貸住宅工事等による固定資産の取得はなかった。

[収 2]ミュージアムショップ、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

[1] ミュージアムショップの運営

1. 商品陳列・装飾改善
各展覧会に則した商品陳列等、ショップ内の装飾の改善等を適宜実施
2. 商品開発
 - (1) 源氏物語絵巻に関するグッズの開発（7種類）
 - (2) 刀剣ブックマーク
 - (3) 絵はがき
 - (4) タオルハンカチほか
3. 割引販売
経年過多となっていた「図録」の割引販売を実施
4. 委託販売
徳川園「ショップ葵」の受託業者が新たに(株)オークコーポレーションとなったことを機に、当館ミュージアムグッズの委託販売を強化した。
5. 販売促進
美術品貸出施設において、当該施設と関連する商品の販売を促進した。

[2] 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

1. 美術館パンフレット・ちらしに利用促進のための案内を掲載
 2. 入館券とのセットプランを実施
 3. 接遇研修実施によりサービス向上を図った
 4. (株)八百彦本店と連携
- ※ 美術館イベントとのセット販売は未実施

事業報告の附属明細書

平成 27 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。